



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.24
令和3年3月2日
文責：校長 福島

先生の仕事 ～養護教諭・学校司書・地域コーディネーター～



養護教諭の仕事は、子供たちが心身とも健康に学校生活を送ることができるようにすることです。保健室には、毎日たくさんの子供がやってきます。具合の悪い子やけがをした子はもちろん、何となく話を聞いてほしい子や「今日は元気が出ないなあ。」という子が来る時もあります。「保健室に行く」という行為には必ず理由があります。冷静にあたたくその理由をみとりていねいに対応することで、いい顔で保健室を出ていくことができます。コロナ禍における重責の中、いつも笑顔で子どもと接する姿には頭が下がります。

学校司書は、図書館にいる先生です。子供たちが本に親しむことができるように様々な工夫をしています。小学校期からの本との関わりは大切です。「どんな本を読むか。」という時代から、「誰とどのように本を読むか。」という時代になっていくという話があります。今は図書館に人を集めるイベントがやりにくいのですが、ブックトークやビブリオバトル等、たくさんやりたいことがあるそうです。「本が大好きで、図書館にいるととても落ち着く。」という先生の存在は、きっと本好きのかすがっ子を育てていくことでしょう。

地域コーディネーターは、コミュニティ・スクールにおいて学校と家庭・地域をつなぐ先生です。私は校長という立場ですので地域の行事には顔を出しますが、そこには必ず地域コーディネーターがいます。ちょっと用があって昇町公民館に行くと地域コーディネーターがいます。小倉公民館に行くとやっぱり会います。もちろん学校でも会います。自転車を使っただけのフットワークの軽さには驚かされます。昨年度いただいた「文部科学大臣表彰」は、このような地域コーディネーターの存在が高く評価されました。「地域に顔が利く」人が学校にいることは貴重です。